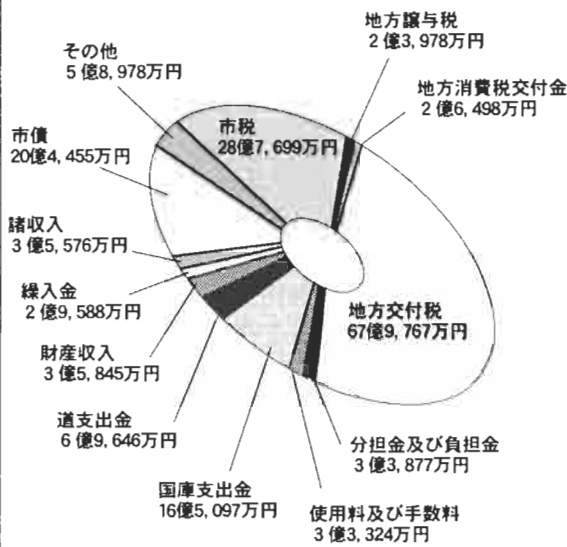


歳入 168億4,328万円 グラフ1



平成14年度 決算状況

問合せ先 財政課財政係☎内線 248 番

平成14年度の決算が、昨年12月の第4回市議会定例会で認定されましたので、その内容について、お知らせします。

グラフ1は、一般会計の歳入（収入）についての状況です。これら歳入は、市民の皆さんが負担する市税（市民税、固定資産税等）などによる自主財源と国や道からの補助金や市債などの依存財源に大別することができます。自主財源の占める割合が大きい自治体ほど財政基盤が安定しているといわれており、紋別市は29%で全国都市平均の51%を下回っています。

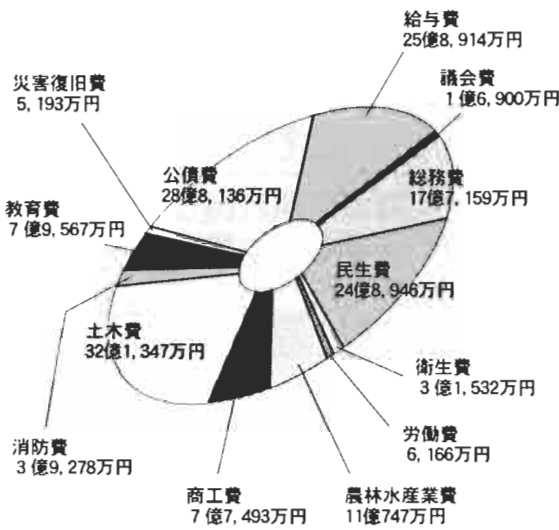
グラフ2は、同じく歳出（支出）を行政目的別に分類したもので、その性質によって義務的経費（人件費や扶助費、公債費など収入の状況に応じて任意に削減できない経費）と任意的経費に分類されます。歳出に占める義務的経費の比率が大きくなると、財政構造の硬直化を招くといわれています。紋別市は43%で全国都市平均の41%を僅かながら下回っています。

歳入と歳出の差引額は、2億2千9百万円となり、平成15年度へ繰り越しましたが、法律により定められた割合にあたる1億4百万円は減債基金（市債の償還に備える預金）へ積み立てました。

表1は、紋別市が設置している特別会計の決算です。特別会計とは、特定の事業を行う場合、特定の歳入をもって歳出に充て、一般会計と区別して経理する必要がある場合に法律や条例に基づき設置され、10会計が設置されています。

表2は、平成14年度末における、市債（家計における住宅ローンのような長期の借入金ですが、大きく違う点は、その元利償還金の一定割合が地方交付税によって国から補てんされるものもあることです。）の残高です。市債は、道路や学校などの社会資本を整備する際、世代間の公平な負担を目的に国の厳格な管理の下に発行しています。これら市債の昨年度の元利償還金が、グラフ2の公債費です。歳出に占める公債費の割合を公債費比率といい、紋別市は、安養園（老人ホーム）や公営住宅などの大型事業を行ったことにより、全国平均15%を上回る、18%となっております。

歳出 166億1,378万円 グラフ2



平成15年度一般会計歳入予算執行状況(4～11月)

(単位: 万円)

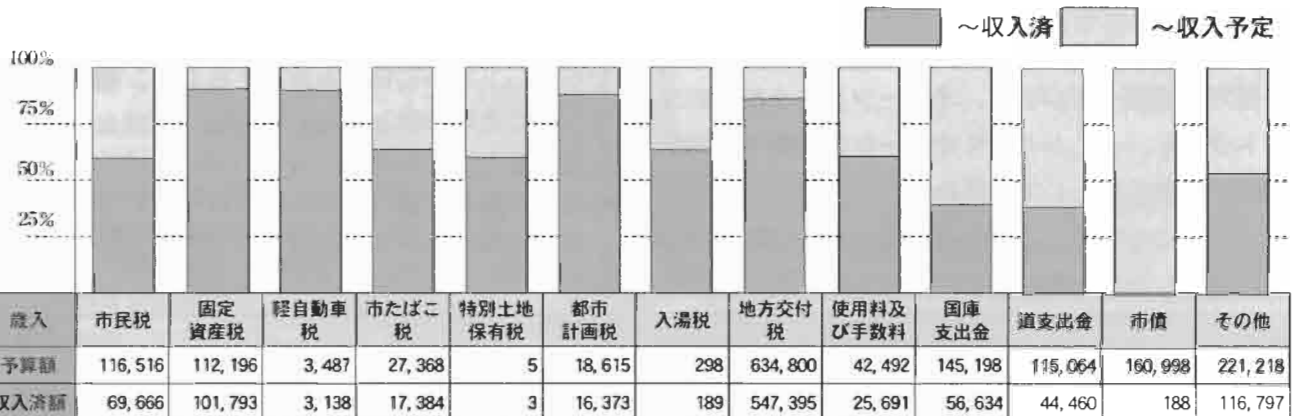


表1 平成14年度 特別会計決算状況

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険事業	23億5,510万円	21億1,983万円	2億3,527万円
公共下水道事業	20億9,085万円	20億4,464万円	4,621万円
港湾埋立事業	1億585万円	2億2,185万円	▲1億1,600万円
簡易水道事業	4,206万円	4,206万円	
交通災害共済事業	509万円	213万円	296万円
土地取得事業	2,129万円	2,129万円	
老人保健事業	29億2,210万円	29億6,071万円	▲3,861万円
営農飲雑用水道事業	2,615万円	2,303万円	312万円
介護保険事業	10億7,875万円	10億6,806万円	1,069万円
介護老人福祉事業	3億2,459万円	3億2,459万円	
合計	89億7,183万円	88億2,819万円	1億4,364万円

平成14年度の主な事業

■総務費	
・産業誘致推進事業	2,448万円
■民生費	
・高齢者等の通院等交通費助成事業	2,886万円
・高齢者在宅福祉サービス促進事業	1,818万円
■労働費	
・勤労者体育センター改修事業	955万円
・雇用開発及びUターン促進事業	489万円
■農林水産業費	
・ポスト農地パワーアップ事業	1億1,119万円
・森林整備地域活動支援事業	5,495万円
・安心安全な食品都市づくり推進事業	489万円
■商工費	
・中心市街地活性化事業	3億8,017万円
・生活バス路線運行維持対策補助金	1,043万円
・オホーツクDOいなか博推進事業	996万円
■土木費	
・落石第1号線改良舗装事業	1億1,425万円
・紋別港改修事業	1億5,001万円
・紋別空港利用促進事業	5,064万円
・運動公園整備事業	2億776万円
・緑団地公営住宅建設事業	4億360万円
■教育費	
・小学校施設整備事業	1,658万円
・IT講習会実施事業	284万円
・武徳殿改修事業	1,974万円

表2 平成14年度末 市債現在高

会計名	金額
一般会計	319億5,091万円
公共下水道事業特別会計	111億2,022万円
港湾埋立事業特別会計	7億3,870万円
簡易水道事業特別会計	2億9,455万円
合計	441億438万円

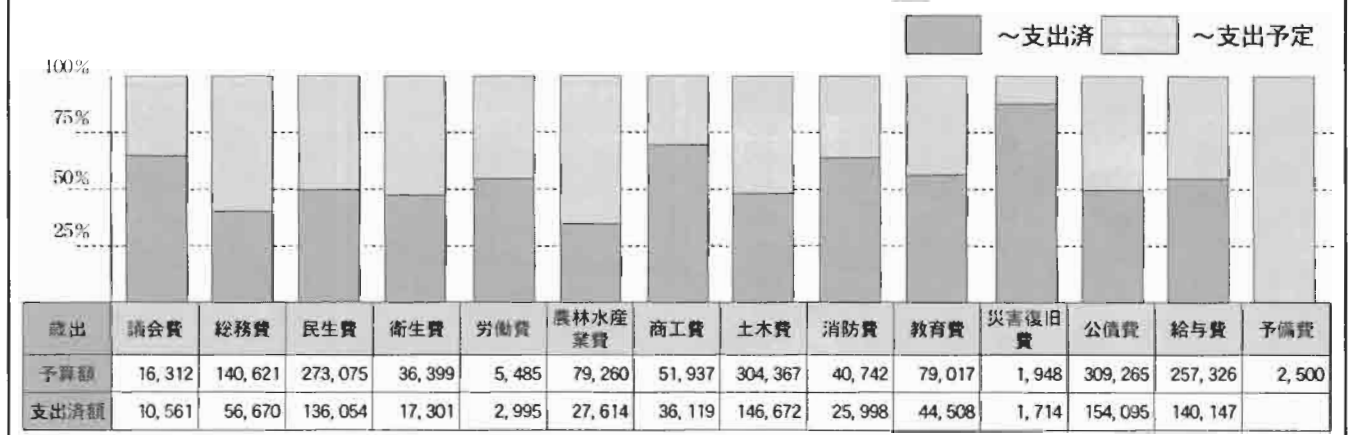
平成15年度一時借入金の状況

- 4月末日残高 19億4,665万円
- 5月中に償還を終え、それ以降の末日残高は無し。

*インターネットの紋別市財政課のホームページ
<http://www.ohotoku26.or.jp/monbetu/>
 ジャンプメニューより財政課のお知らせをクリックしてください。

平成15年度一般会計歳出予算執行状況(4~11月)

(単位:万円)



平成14年度

水道事業の経営内容

厳しい経済情勢と冷夏の影響を受け、使用水量が対前年比で115,141 m³減少し、給水収益は2,565万円の減収となり、収益的収入全体では6億4,870万円の決算となりました。一方、収益的支出では、6億9,921万円の決算となり、5,051万円の純損失で収支決算となりました。(消費税抜き)

給水の実績

○年間総配水量	4,059,039 m ³
○1日最大配水量	13,066 m ³
○1日平均配水量	11,120 m ³
○給水人口	25,088 人
○給水件数	11,853 件
○普及率	91.4%
○1 m ³ 当たりの単価	183.86 円
○1 m ³ 当たりの費用	214.48 円

配水管整備事業

市道緑町第37号線のほか14路線、延長2千311.7 mの配水管布設工事を実施しました。

浄水場整備事業

花園浄水場(昭和45年供用開始)の老朽化による施設整備事業について、平成10年度から平成16年度まで、3期にわたる継続事業を実施しています。

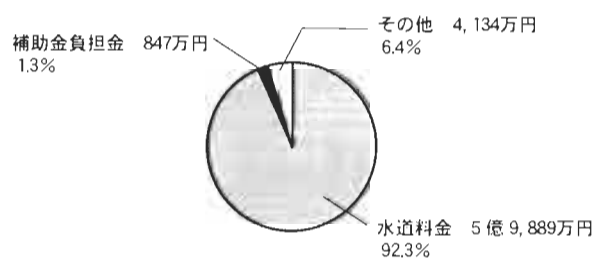
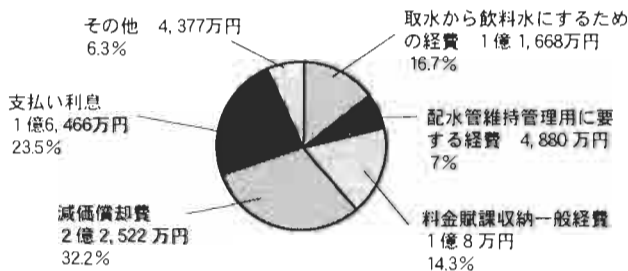
量水器整備事業

計量法に基づく量水器の整備は、検定期間満了分を年次別の設置個数に応じ取り替えておりますが、本年度は千173個の取替更新及び214個の新設を実施しました。

◆経常的な事業活動に伴う収支(消費税抜き)◆

支出 6億9,921万円

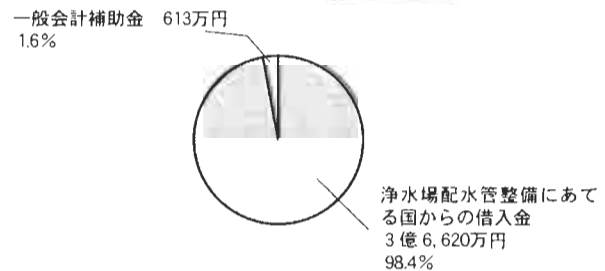
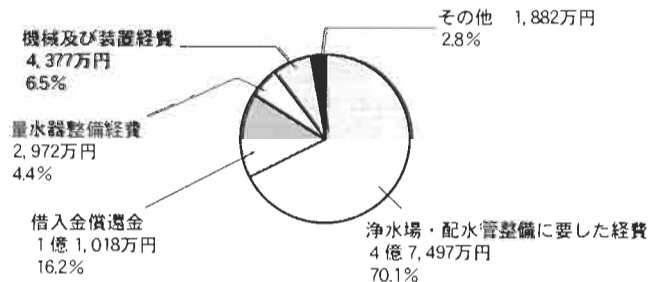
収入 6億4,870万円



◆投資的な事業活動に伴う収支(消費税込み)◆

支出 6億7,746万円

収入 3億7,233万円



資金の収支状況

収入		支出	
給水収益	62,233万円	営業費用	26,966万円
受託工事収益	2万円	営業外費用	16,466万円
その他の営業収益	571万円	建設改良費	53,065万円
営業外収益	4,571万円	企業償還金	11,018万円
前年度未収金	1,119万円	貯蔵品購入費	2,002万円
企業債	36,620万円	前受金	168万円
前受金	139万円	預り金	39,345万円
預り金	39,348万円	未払金	40万円
前年度繰越金	35,564万円	繰延勘定	1,813万円
一般会計補助金	613万円	次年度繰越金	29,897万円
計	180,780万円	計	180,780万円

財政の状況

固定資産	54億4,773万円	資本合計	53億4,860万円 (自己資本 6億3,139万円) (借入資本金 47億1,721万円)
流動資産	3億1,308万円	負債合計	427万円
繰延勘定	4,817万円	資本剰余金	3億9,428万円
		未処分利益剰余金	6,183万円